

ファイナル・レポート：第 34 回ケルン国際デンタルショー

会期：2011 年 3 月 22 日(火)～26 日(土)

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

- ◆ 史上最大規模のケルン国際デンタルショー
- ◆ 来場者数、出展企業数および展示面積のすべてが大幅に増加

148 カ国から 11 万 5,000 人が来場（前回から 9%増）、58 カ国から 1,956 社が出展、展示面積は 14 万 5,000 m²、海外から多数の来場者、意思決定権を持つ来場者も来場

ー ビジネスの発展に向けて大きな弾みとなったケルン国際デンタルショー、デンタル業界も成果に大満足

世界最大の歯科医療・歯科技術の見本市であるケルン国際デンタルショーが 2011 年 3 月 26 日(土)、大盛況のなか、素晴らしい成果とともにケルンでの 5 日間の会期を終えました。前回と比較して、専門来場者数が約 9%、出展企業数が 7%、展示面積が 5%増加しました。合計で 58 カ国 1,956 社が製品を展示する一方、148 カ国から約 11 万 5,000 人の業界関係者が来場し、製品に関する情報を収集しました。出展企業のうち、ドイツ国外の企業は 66%を占め、9%の増加となりました。海外からの来場者数も 20%超の増加となり、およそ 42%を占めました。ドイツ歯科工業会（VDDI）の Dr. マーティン・リカルト会長は次のようにコメントしています。

「国内外を問わず、IDS ケルン国際デンタルショーの魅力がさらに高まりました。特に、海外からの参加者が大幅に増加したことからも明らかのように、IDS は世界最大の歯科医療・歯科技術の見本市です。さらに、この見本市に参加することで、デンタル業界の専門企業と専門販売業者の間だけでなく、業界内の企業、歯科医師、歯科技工士の間でも良質な商談が成立しました。このように、IDS はあらためて今後の好調を予期させる結果となり、デンタル業界がビジネスを発展させていくための弾みとなりました」。ケルンメッセのオリバー・クアト副社長もこれに補足し、「IDS は予想を上回る結果となりました。あらゆる新製品が提示され、情報交換やパートナー企業探し、受発注の絶好の機会となりました。だからこそ、出展企業、来場者、そしてメディアなど、すべての関係者がこの見本市に満足しています」と語っています。

素晴らしい成果を挙げ、大盛況となった見本市

IDS 2011 ケルン国際デンタルショーが大盛況となった理由として、特に来場者数の多さがあります。結果的に、見本市の会場は大変な賑わいとなり、出展企業のブースには多くの人を訪れました。出展企業も認めているように、歯科医療やデンタルラボから歯科器材の販売、さらには高等教育の分野まで、あらゆる重要な業界関係者がブースを訪れました。特に、海外からの来場者

数が多かったことに出席企業は満足しています。今回は、中南米、オーストラリア、米国、カナダに加え、イタリア、フランス、オランダ、スペイン、英国、スイス、ロシア、ウクライナ、トルコ、イスラエル、中国、インドからの来場者数が大幅に増加しました。また、今回のケルン国際デンタルショーは、多くの出席企業にとってビジネス面でも大成功でした。国内外からおびただしい件数の注文が発注され、多くの企業が大量受注に成功しました。多くの出席企業にとって同じく重要なポイントとなったのが、契約の締結および継続、顧客ロイヤルティの確立、新規顧客の獲得、新たな海外市場の開拓などのチャンスでした。第34回IDSケルン国際デンタルショーでは、これらすべての目的が達成されました。さらに、購買決定権を持つビジターが来場したことに出席企業は大満足でした。この事実は、独自の来場者調査の初期の結果からも確認されており、専門来場者の85%が各企業で購買の決定に携わっていました。

来場者も大満足

出席企業だけでなく、来場した業界関係者も見本市が大成功であったと報告しています。これは、来場者調査へのアンケートで確認されています。全体としては、回答者の95%がケルン国際デンタルショーに満足している、または非常に満足していると回答しました。1,956社の海外企業が出展し、数多くの新製品が展示されるなか、来場者の95%は、製品の範囲や見本市で目的が達成されたことに満足している、または非常に満足しているという結果になりました。さらに、回答者の93%は、「同僚にケルン国際デンタルショーへの来場を薦める」としています。

イノベーションに大きな関心

特に専門販売業者やユーザーの関心を集めたのが、展示された革新的な新製品や新技術でした。VDDIのDr. マーティン・リカルト会長によると、見本市では、より効率的かつ高品質な治療を可能にするデジタル・プロセスやデジタル技術が急速に普及していることが裏付けられました。このように、IDS 2011ケルン国際デンタルショーでは、ユーザーや患者にとって予防ケアや診断、歯科治療の改良をもたらす製品およびシステムに大きな注目が集まりました。例えば、無痛の専門的な予防ケアを可能にする拡張型超音波システム、デジタル式の口内スキャナ、改良された歯根治療法、新たな歯科充填材、ごく自然に見える審美的な歯冠や矯正器具、インプラント分野で特に有効な改良されたデジタルX線診断法などです（詳細は、添付されているIDS 2011ケルン国際デンタルショーの見本市レビューをご覧ください）。

ドイツ連邦歯科医師会（BZÄK）：「デンタル市場はドイツの成長エンジン」

ドイツ連邦歯科医師会（BZÄK）のDr. ペーター・エンゲル会長は、ケルン国際デンタルショーの素晴らしい成果に満足し、次のように話しています。「ドイツ経済は復活しつつあります。これは、今回のIDSからも分かることです。これまで以上の来場者数と出席企業数が示すように、

デンタル業界は進歩的であり、ドイツの中小企業はイノベーションを生み出しています。そして、国際的に大きな注目を集めています。デンタル市場はドイツ経済の推進力です。将来的には、デンタル業界のこうしたイノベーションにより、患者の歯科治療や予防ケアが改善していくと思われます。それには適切な政治的判断も必要です。こうしたイノベーションを実用化するには、政治家が健全な政策の枠組みを構築していかなければなりません。例えば、重要でありながら滞っているいくつかの修正法案について、歯科医師は成立を心待ちにしています。その中には、歯科医師の免許や診療報酬に関する修正法案や、東西ドイツ間の給与格差の調整に関する修正法案などがあります。ドイツ連邦保健省が法定健康保険に関する予算制限を緩和しようとしている事実は、政治的に前向きな合図です。そのため、将来的には、革新的かつ最高品質の歯科医療を確保できると考えています」。

ケルン国際デンタルショーのなかで、ドイツ連邦歯科医師会は、世界中の貧困層のデンタルヘルスを改善するための支援組織の調整会議も開催しました。このカンファレンスでは、40人以上の参加者が支援プロジェクトに関するプレゼンテーションを発表しました。こうしたプロジェクトは、世界中の貧困地域で働く歯科医師や歯科学生によって策定されました。そのなかにはドイツで働く医師や学生もおり、孤児、路上生活者、障害患者、要介護者、麻薬常習者、医療を受けられない遠隔地の住人など、不利な立場にある患者にデンタル・サービスを提供しています。このサービスのため、多くの場合、歯科医師や歯科学生は多大な問題を解決することが求められます。この調整会議は、参加者にとって、支援の取り組みにおける経験を共有するためのまたとない機会になりました。

ドイツ歯科技工士同業組合（VDZI）：「デンタル分野の革新力を見事に証明」

ドイツ歯科技工士同業組合のユルゲン・シュヴィヒテンベルク会長も見本市に非常に満足し、次のように話しています。「歯科技工士業界の立場から見ても、IDS 2011 ケルン国際デンタルショーは、デンタル分野の革新力をあらためて証明したといえます。出展企業はもちろんのこと、歯科医師、歯科技工士、そして来場者の間には、明らかに楽観的で未来志向的な雰囲気を感じられました。ケルンの見本市で展示された製品の幅広さと、特に、新たなデジタル技術の急速な発展を考えれば、今後は、歯科技工士が専門知識でこれらの新技術やソリューションを積極的に補い、自らのラボで実践することにより、オールラウンドで高品質な治療を確保することが重要になってきます。一般的なデンタル業界のパートナーや専門的な歯科医師は、こうした重要なサービスをこれからも信頼していくことができるでしょう」。

IDS ケルン国際デンタルショーを契機として始まり、その重要性が高まりつつある協力関係として、ドイツ歯科技工士同業組合とヨーロッパ歯科技術学会（EADT）の協力があります。この協

力関係は、専門的な歯科技術を組み合わせ、最高水準の理論的かつ実践的トレーニングを実施することにより、開業医が最先端の歯科技術について学ぶことができるようにすることを目的としています。ケルン国際デンタルショーのVDZIブースは、交流の場として、そして、歯科技工士業界に関するあらゆるテーマや業界の具体的な政策プロジェクトを議論する場として好評でした。VDZIでは、有望な歯科技工士に贈られる第13回Gysi賞のコンペも開催しました。

注目を集めたスピーカーズ・コーナー

多くの来場者がスピーカーズ・コーナーを訪れ、最新の科学および研究状況について情報収集をしていました。5日間の会期中、出展企業により、連日にわたって新たな製品やプロセスに関する約80のプレゼンテーションが行われました。内容は、インプラント・システムや審美歯科のデジタル化から、レーザー技術や歯科麻酔学、さらには歯科医療における最新のストレス管理手段にまで及びました。

IDS 2011 ケルン国際デンタルショーに関するデータ

総展示面積：約14万5,000 m² (2009年：13万8,000 m²)

出展者数：58カ国1,956社 (2009年：57カ国1,823社)

外国企業数：1,252社、代理店33社 (比率：全体の65.7%)

来場者数：148カ国約11万5,000人 (2009年：136カ国10万6,147人) *最終日の概算を含む

外国人比率：約42% (2009年：38%)

*以上の数字は、見本市自主統計協会(FKM)の指針に基づき算出され、会計監査官の監査を受けています(www.fkm.de)。

IDS ケルン国際デンタルショーは、2年に1度ケルンで開催されます。IDSは、ドイツ歯科工業会(VDDI)の事業会社である歯科産業振興協会(GFDI)が主催し、ケルンメッセに運営が委託されています。

次回、第35回ケルン国際デンタルショーは2013年3月12日(火)～16日(土)まで開催されま
す。

IDSに関するお問い合わせ先

ケルンメッセ株式会社

〒106-0045 東京都港区麻布十番2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル7F

Tel: 03-5418-6245 / Fax: 03-5418-6246

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp